

# 放課後等デイサービス 夢門塾 自己評価表

記入日:	2024 年 11 月 30 日
事業所名:	夢門塾ゆうゆう高木

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員と指導訓練室のスペースは適切である	4			・目的別にスペースを確保していく。
	②	職員の配置は適切である		2	2	・他事業所とも連携し適切な配置を行っていく。
	③	衛生面の管理が行き届いている	1	3		・マニュアルに沿った清掃を行い、利用者様には生活日課を見につれるように支援を行っていく。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定を振り返り)に、広く職員が参画している		4		・日々問題点は解決するために職員間で情報共有出来るようなミーティングを行っていく。
	⑤	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者様の意見を把握し、業務改善につなげている	4			・ミーティングで共有し、支援や環境整備に生かしている。
	⑥	自己評価の結果を公開している	3	1		・毎年夢門塾のホームページに公表している。
	⑦	職員の資質向上のため、会議・研修の機会を確保している	4			・定期的な研修を実施し、職員の資質向上を図っている。
適切な支援の提供	⑧	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者様のニーズや課題を客観的に分析した上で、個別支援計画を立てている	4			・個別支援計画の情報の共有を行いカンファレンス等で目標に反映している。
	⑨	活動の計画をチームで行っている	2	2		・朝のミーティングで活動内容や配置を決め、安全に支援が行えるようにしている。
	⑩	活動の計画が固定化しないよう工夫している		4		・利用者の希望(ニーズ)を取り入れることや、その時に必要な活動を職員とも話し合いながら行っていく。
	⑪	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め、細やかに設定し、支援している	2	2		・季節行事やさまざまな活動を取り入れ利用者様の課題も考慮し設定していく。
	⑫	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、活動を計画している	4			・日々の状況で個別活動と集団活動が出来るよう計画、配慮を行っている。
	⑬	支援開始前に、職員間で打ち合わせし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	1		・朝のミーティングで職員間で情報を交換し、記録した上で全員に周知、共有している。
	⑭	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	1		・毎日の記録を行い、こまめな情報共有を行いながらミーティング等でも支援の改善に努めている。
	⑮	定期的にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している	4			・モニタリングは面談、電話にて保護者様と行われている。
	⑯	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	2		・ガイドラインに記載されている内容を複数組み合わせで行っている。

関係機関、保護者様との連携	17	学校との情報共有(年間計画・行事予定等予定の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	2	2		・必要時、学校との情報共有や送迎等でのトラブルの際も連絡できるような関係を築いている。 ・下校表などは基本的には保護者から頂きコピーをとらせてもらっている。
	18	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所または学校等との情報共有と相互理解に努めている		2	2	・今後必要時に行っていく。相談支援事業所担当者とのやり取りは行えている。
	19	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障がい福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供している		2	2	・今後、該当者がいれば行っていく。
	20	児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	2	1	・専門機関との連携はとれていないが、検査結果を保護者から頂き、それを支援にも生かせるようにしている。
	21	日常的に子どもの状況を保護者様と連携し、発達状況や課題について共通理解を受けている	2	2		・保護者様とは、モニタリング以外でも、コドモンや連絡帳、送迎時で情報交換をしている。
保護者様への説明責任等	22	運営規定、支援の内容、利用者負担等に付いて丁寧な説明を行っている	2	2		・契約時に1つ1つ説明している。
	23	保護者様からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言を行っている	2	1	1	・解決策の提案や夢門塾で対応出来ることをお伝えしている。
	24	保護者会等を開催し、保護者同士の連携を支援している	2	1	1	・年に数回、保護者会や参観日の機会を設け、保護者様に来所してもらえるように企画している。
	25	子どもや保護者様からの苦情について、対応体制を整備、周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	1	3		・苦情対応規定を定めている。早く対応できるよう努める。
	26	定期的に会報等発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信している	1	3		・夢通信を月のはじめに発行し活動内容行事の掲載をしている。
	27	個人情報保護に十分注意している	4			・全職員が意識して取扱いや保管をしている。
	28	障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	1		・視覚的な情報や聴覚での伝達で、お子様や保護者様には伝え漏れがないよう努めている。
	29	地域の行事に参加したり、事業所に地域住民を招待する等し、地域に開かれた事業運営を行っている	1	3		・地域の方が参加できる催し物を開催したり、地域のイベントの参加をしている。
	30	緊急対応、防災、感染症マニュアルを策定し、周知している	2	2		・すべてマニュアル化し、周知している。
非常時などの対応	31	非常災害の発生に備え、定期的に避難訓練を行っている	4			・最低でも年に2回の実施を行っている。
	32	虐待防止のため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4			・会社での研修がある。事業所でも話し合いをしている。
	33	いかなる場合も身体拘束を行うか否かについて、組織的に決定し、子どもや保護者様に事前に十分説明し、了承を得た上で支援計画に記載している	4			・対象となるお子さんがいない。
	34	保護者様に記入いただいた与薬表をもとに、子どもへの投与を行い、チェックを行っている	4			・飲み忘れがないように職員同士言葉がけを行い、目に付く所に掲示するように行っている。与薬表を活用し、Wチェックを行っている。
	35	ヒヤリハットを綴り、事業所内で共有している	1	3		・出来事を書面化し、回覧している。

**保護者様評価、自己評価についてまとめ**

事業所で行っている活動や取り組みに対し保護者様に行き届いてないことが分かった。保護者様の不安感をなくすため確実な情報共有を行いながら様々な機関との連携を行っていきたく思います。また、職員への周知が行き届いていないことも分かったため、保管場所や取り組んでいることの表面化に努めていきます。